



鈴木基夫
自由クラブ

環境・経済政策
について

問 プラスチックを再生可能な資源として循環させるにはどのような方向性か。

答 廃プラスチックを焼却して熱エネルギーとして利用するサーマリンリサイクル、プラスチック製品に再生利用するマテリアルリサイクル、化学原料として再生利用するケミカルリサイクルがあるが、二酸化炭素の排出を抑え、資源を循環させるリサイクルの仕組みが重要であり、資源循環や環境負荷の軽減が図られるマテリアルリサイクルやケミカルリサイクルの比率を今以上に高める必要があると考える。

問 脱炭素に取り組みにあたり、何に重点を置いて企業同士の連携

等を考えているか。
答 サークュラーエコノミーの取組を加速していくためには、市内外を問わず、様々な事業者をマッチングさせることで、イノベーションを起こしていくことが重要と考えている。

公契約条例について

問 課題と問題点、今後のスケジュールは。

答 事業者の事務負担や公契約に係る労働者への周知が行き渡りにくいといった問題があるので、適切な労働環境を整備できるようにしていくことが大切である。3月定例会に条例案を提出したい。



プラスチック資源循環促進法が施行されます



尾崎広道
自由クラブ

観光道路等の維持
管理について

問 西浦町地内の観光道路への落石状況を伺う。

答 土地所有者が対策工事を施工するが、改善されない場合は市が道路に落石防止柵を設置する等の検討も行う。

横断歩道設置について

問 市道西名田的場1号線・西浦堂前浜田1号線（形西線）の横断歩道設置について、形西線沿いの消防署西部出張所建設中の付近への設置について伺う。

答 蒲郡警察署や地域住民と連携し交通安全

対策に取り組んでいく。

カインズ入口交差点
の信号機について

問 深夜でも形原側からポートレース蒲郡側へ向かう車線の青信号点灯時間が非常に短い理由を伺う。

答 蒲郡警察署によるとシヨッピングモールへ右折し進入する車両に考慮するためという理由であった。

問 鹿島大橋東交差点付近の通勤時の渋滞対策について市の考えを伺う。

答 国道247号の4車線化により、車両渋滞緩和と安全で円滑な道路交通の確保になると期待している。



大向正義
自民党市議団

旧統一教会について

問 蒲郡市名誉市民の中で旧統一教会と関係のある方がいるか、市は把握しているか。

答 現在、蒲郡市名誉市民は9名いるが、旧統一教会と関係がある方がいるかどうか、市として把握はしていない。

問 名誉市民として推挙した際、旧統一教会との関係を認識していたか。

答 名誉市民は9名いるが、旧統一教会と関係のある方がいるかどうか、市として把握はしていない。

問 鈴木エイト氏著書「自民党の統一教会汚染追跡3000日」によると、信者自身が素性を隠して地方選挙に出馬、幾人かは当選し、確認できているだけで

も本市や千葉県流山市、大阪市等で信者議員が誕生したという。著書の内容が真実であれば、平成15年の市議会議員の選挙で新たに当選した誰かが該当するのではないかと思うが、市はどう認識しているか。
答 市の事務とは直接関係ないため、答弁は控える。

13	10	7	4	1
14	11	8	5	2
15	12	9	6	3